

令和7年度 第2回 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会 会議録

- 1 日 時 令和8年1月29日(木) 10時から12時
- 2 場 所 さいたま市大宮盆栽美術館 2階 講座室
- 3 出席者 (1) 委員(8名)(委員長以下五十音順)
小島孝夫委員長、大和田昌宏副委員長、池田伸子委員、砂生敏一委員、杉山正司委員、関根良和委員、高嶋修一委員、谷中智恵子委員、三輪史委員、森紀与子委員
(2) 欠席委員
なし
(3) 事務局
スポーツ文化局 石塚局長
文化部 川田部長
大宮盆栽美術館 清水館長、海津副館長、松野副参事、
山川係長、田口係長(学芸員)、菅原主査(学芸員)
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 内 容
(1) 開 会
(2) 挨拶 スポーツ文化局長
(3) 報 告
・大宮盆栽村100周年記念事業について 【資料1】
(4) 議 事
・令和8年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について(案) 【資料2】
(5) その他
・照明器具LED化修繕について
(6) 閉 会

<議事内容要約>

報告 大宮盆栽村100周年記念事業について

事務局から資料1について説明。

委員長 報告事項についてご質問等ありますでしょうか。

委 員 特別展は暗くてよく見えませんでした。エッセンスを絞ってもう少し大きな文字で見せたほうが良かったのではないのでしょうか。せっかく良い展覧会だったので少し残念です。

かるたは市内の学校から反響はあったのでしょうか。

事務局 特別展は資料保存のため照度を落としていました。外から室内に入ってくると暗く感じられたかと思います。学芸員側としては伝えたいことが多くありました。エッセンスを取り上げて歴史を詳しく知りたいという方から、ライトな層にまで理解していただけるよう配慮が必要だったと感じています。展覧会は来年度以降も引き続き行っていくので、照度や文字数については改善していきたいと思います。

かるたは発行部数の関係から市内の小学校に1校に1個という形でお配りしました。このような形だと、なかなか各クラスまでいきわたらず、飾ったまま終わってしまう

という声を学校の先生からいただいています。そのような中で、かるたの活用については、地元の植竹小学校から、3年生の国語の授業で大宮盆栽村かるたを取り上げたいという話がありました。来週、小学校3年生4クラスのかるた大会に、当館学芸員が出張し、解説する予定です。今回、小学校3年生の国語の授業でかるたを取り上げるという情報を得たので、これから各学校にPRしていきたいと考えています。

委員 私は美術館のボランティアとしてかるたの制作に関わりました。苦労しているいろいろと工夫しましたが、温かい雰囲気できあがって喜んでいきます。

美術館のボランティアでもかるた大会を行いました。制作にあたっての苦労や経緯を話しながら、大人でも楽しむことができました。小学校3年生だと解説が理解しづらいところもあるように感じられますが、盆栽文化の普及の一環として活用していただけたと思います。

ライトアップは、地域の高校生、専門学生の取組も見ることができました。違う形で盆栽を見ることができ、今後も多くの人に盆栽を見ていただきたいと思いました。

武蔵一宮氷川神社のプロジェクトマップも、とても混んでいて最終日に近づくとも1、2時間待つほどでした。実際に見て、盆栽の物語性がとてもよかったです。今回限りで終わってしまうのかなとも思いましたが、とても良い体験をさせてもらいました。

委員 かるたはミュージアムショップ以外でも販売しているのでしょうか。

事務局 販売は館内のみとなっています。

委員 館内だけでも販売実績は十分伸びていくと思いますが、せっかく多くの方が制作に携わり、皆様が気持ちを込めて作られたとても良いものなので、今後、市内で販売したり目にしたりする機会があると良いと思います。

事務局 御意見は参考にさせていただきます。当館のウェブサイトでは紹介しています。

委員 かるたについて、ふるさと納税の返礼品にすることは難しいのでしょうか。

事務局 今まさに手続きを進めているところです。

委員 特別展で高嶋先生の講演を拝聴しました。予約する際のシステムについて、令和7年度のその他の事業も同じような募集の仕方なのでしょうか。講演会は、大宮盆栽美術館の事業として実施したのでしょうか。

事務局 予約する際の生涯学習振興システムは少し操作しづらいところもあるかと思いますが、さいたま市全体として電子化を進めており、以前は往復はがきや電話で募集をしていましたが、現在、特にコロナ禍以降は教育委員会のシステムを使って、募集事務を行っています。

委員 盆栽家ではない先生のお話を興味深く聞きました。今後もこのような企画があると良いと思います。

委員長 特別展は資料が多かったと感じました。壁面が空いていれば階層的に単元パネルと解説パネルとに分けて展示できたかもしれませんが、壁面が資料いっぱいだったので、詰め込むしかなかったのかなと感じました。盆栽の後継者の日記が紹介されており、盆栽制作技術を継承しようとしていた若者の記録が公開されて、盆栽制作の継承過程を具体的に理解することができました。あの展示が大変よかったです。

また、図録が大変充実していました。図録所収の論考により歴史的な検証内容がひろく共有されることになり、100周年という歴史的な評価も確立することができたと思います。市の文化財保護審議会でも、文化財としての評価を検討していただけないかと思いをいたします。まずは史跡という方向で進めていただけないかと思いをいたしました。史跡としての盆栽村、さらに盆栽という縮景技術を無形民俗文化財として位置付けていくことが、今回の100周年を一過性で終えず、今

後100年を見据えた大事な視点になってくると思います。今回の100周年記念特別展は非常に意義があるものだったと思います。

議事 令和8年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について（案）

事務局から資料2について説明。

委員長 令和8年度大宮盆栽美術館展覧会事業等についてご意見等ありますでしょうか。

委員長 資料「2 普及事業 (3)学校連携」の3番目に埼玉県立高等学校盆栽作品展とありますが、対象となる高校数はどのくらいあるのでしょうか。

事務局 今年度も実施していますが、現在のところ2校あります。県立浦和北高等学校と越谷西高等学校で、美術の時間で盆栽を取り上げている先生がいます。盆栽を作る前に当館職員が外向して、盆栽の監修等、基本の話をし、その後、盆栽村の職人が先生となって盆栽を作って、そのお披露目を当館のロビーで行っています。年間を通してのプログラムというより、一度外向し、完成したものをロビーで展示するというものなので、美術館側の負担度は大きくありません。

委員長 2校ならば、事業としてそれほど負担にはならないということですね。美術の授業で盆栽について扱うのでしょうか。

事務局 盆栽は指導要領では扱っていません。美術の教科のうち、オリジナルの植木鉢を作る授業の一環として、鉢に飾るための盆栽をプラスアルファで作っています。

委員長 なかなか学校数は増えないと思いますが、その2校を大事にしてほしいと思います。

事務局 杉戸農業高等学校から、盆栽の授業をしてほしいという話を今年度いただき、昨日は盆栽技師と学芸員とで外向し、針金掛けをするというレベルの高い授業をしました。予算が付けば今後も行いたいという話をいただいています。農業高校は盆栽の後継者として直結するので、よりPRしたいと考えています。

委員長 農家は盆栽に関わっている人も多いので、そういった意味でも連携できると良いと思います。

委員 ゆかたde盆美について、最近の多様化ということを見ると、身体的、文化的な理由で、ここで求める服装を完全にできないが、和装で盆栽に親しんでいただくという趣旨に賛同される方はいると思います。きわめて簡素なものであっても、和装を身につけている方は無料で観覧できるよう、間口を広げても良いと思いました。和手ぬぐいを持っていけば可とするなど、そういったことを考えてみても良いと思います。

事務局 事情ある方は簡素でも良いという検討をし、幅広く楽しんでいただけるよう考えていきたいと思っています。来館促進もかねて和装の方は無料にしていますが、美術館の収入にも関わってくるので、間口を広げるとしたら、無料にするのかどうかということも含めて考えていければと思います。

委員 ライトアップは非常に人気があったということで集客が期待できると思いますが、来年度は実施しないのでしょうか。時期によって盆栽の表情が変わるので、夏に行くなどしても良いのではないのでしょうか。手間や予算のこともあるので難しいとは思いますが。

事務局 今年度は100周年ということで予算が付いて、市内全体でいろいろなイベントが開催され、盛り上がったと思います。来年度はライトアップの実施予定はありませんが、今後も機会を見つけてイベントの企画を考えていきたいと考えています。

委員 「4 調査研究活動 (2)大宮盆栽村関連資料の調査」の「関連資料の目録化」につい

でデータベース化して将来のデジタル化ということは考えているのでしょうか。今回博物館法が変わって、デジタル化ということが叫ばれています。社会教育施設だけでなく文化施設としての立ち位置も法律の中で位置づけられました。こういったことを積み上げて、将来的に博物館登録を目指してもらいたいと思います。目録化もその延長線といったことを考えているか教えてもらえますか。

事務局 盆栽村100周年の特別展では各園の盆栽の作品性や産業的な側面など採り上げることができなかつたので、来年度もしっかりと調査していきたいと考えています。まだ洗い出しの段階なので、この先どのような形で目録を活用していくか検討し、公開についても視野に入れて進めていきたいと考えています。

委員 100周年で終わらないように、将来の美術館のことを考えて継続して事業を考えていってほしいと思います。

委員長 それでは、お諮りいたします。「令和8年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について」は、事務局の説明とおりとしてよろしいでしょうか。

委員 異議なし。

委員長 それでは、「令和8年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について」は、事務局の説明のとおりとします。

その他 照明器具LED化修繕について

事務局から来年度に照明器具のLED化修繕を予定しており、状況によっては休館する可能性があることを説明。

委員 先ほどの議事の令和8年度展覧会事業に影響はないのでしょうか。

事務局 影響が出ないよう進めていきたいと考えています。